

看護の統合と実践

目標 I 看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1. 看護におけるマネジメント	A. 看護マネジメントの概念 108-PM-69, 106-AM-71	a. 看護マネジメントの定義	〈別巻〉管理・研究・制度 1章-I 看護管理とは何か (P2~6)	
		b. 看護組織と職務	〈別巻〉管理・研究・制度 1章-III 看護部門の基本的成り立ち (P12~18)	
		c. 組織経営と看護	〈別巻〉管理・研究・制度 1章-IV 看護管理部門の基本的役割 (P19~25)	
	B. 医療・看護の質保証 106-PM-61	a. 医療・看護の質と指標	基礎看護学① 4章-II 看護活動がもつ機能 (P157~174)	
		b. 病院機能評価	基礎看護学① 4章-II 看護活動がもつ機能 (P157~174)	
		c. 医療・看護の標準化とクリニカルパス	統合と実践①マネジメント 1編-4章-II クリニカルパスの役割 (P75~79)	
		d. 看護業務管理、看護の交代勤務	基礎看護学① 4章-II 看護活動がもつ機能 (P157~174)	
		e. 看護業務基準、看護手順	〈別巻〉管理・研究・制度 1章-IV-B 業務管理 (P21~23)	
		f. 看護制度、看護提供システム	基礎看護学① 4章-II 看護活動がもつ機能 (P157~174)	
		g. 診療報酬制度	〈別巻〉管理・研究・制度 3章-II-C 診療報酬体系と看護 (P150~158)	
		h. 重症度、医療・看護必要度	基礎看護学① 4章-II 看護活動がもつ機能 (P157~174)	
	C. 保健医療の機能分化と連携	a. 看護の専門性と多職種連携	統合と実践①マネジメント 1編-4章-1-D チームにおける看護師の役割と責任 (P67~69)	
		b. 病床機能報告	統合と実践①マネジメント 1編4章-1-F カンファレンスのあり方と運営方法 (P70~71)	
		c. 医療計画	統合と実践①マネジメント 1編-2章 看護師のチームワークとコミュニケーション (P18~45), 4章 多職種のチームワークとコミュニケーション (P64~78)	
		d. 継続看護、入・退院調整	統合と実践①マネジメント 1編-2章 看護師のチームワークとコミュニケーション (P18~45), 4章 多職種のチームワークとコミュニケーション (P64~78)	
		e. 地域包括ケアシステム	統合と実践①マネジメント 1編-2章 看護師のチームワークとコミュニケーション (P18~45), 4章 多職種のチームワークとコミュニケーション (P64~78)	
	D. 情報のマネジメント	a. 医療情報の利活用	統合と実践①マネジメント 1編-1章-II-A 情報とデータ (P9~10)	
		b. 情報の公開	統合と実践①マネジメント 1編-1章-II-D 医療情報の扱い方 (P14)	
		c. 個人情報の保護と管理、診療情報等の開示	統合と実践①マネジメント 1編-1章-II-D 医療情報の扱い方 (P14)	108-PM-70
		d. 診療記録等の電子化と医療情報システム	統合と実践①マネジメント 1編-1章-II-C 医療情報の電子化 (P11~13)	107-PM-68

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1. 看護におけるマネジメント	E. 医療安全のマネジメント 106-PM-112, 113, 114	a. 安全管理体制整備と医療安全文化の醸成	統合と実践①医療安全 1章 医療安全の基本的考え方 (P154~176)	108-PM-71, 107-PM-66
		b. 医療事故・インシデントレポートの分析と活用	統合と実践①医療安全 2章 「危険の種類」別にみた医療安全対策 (P178~238)	108-AM-76
		c. 多重課題の特徴と対応	統合と実践①マネジメント 2編-6章 多重課題への対処 (P102~111)	
	F. 人材育成・活用 106-AM-70	a. 継続教育、キャリア開発	統合と実践①マネジメント 3編-8章-I-B-5 看護師としてのキャリア (P136~141)	
		b. 認定・専門看護師の資格と活動	統合と実践①マネジメント 1編-4章-I-2-コラム 専門看護師, 認定看護師とは… (P73), 3編-8章-III-D スペシャリストの育成 (P144~147)	
		c. 特定行為に係る看護師の研修制度	〈別巻〉管理・研究・制度 3章-III-C 看護基礎教育の目標達成と継続教育 (P203~204)	
		d. 看護師等の確保、就業継続、看護師等の届出制度	関係法規 2章-B 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (P38~40)	108-PM-72
		e. 看護師等の労働安全衛生	関係法規 9章-B 労働安全衛生法 (P184~186)	107-PM-69
	G. 看護政策と行政	a. 看護政策立案の過程	〈別巻〉管理・研究・制度 3章-II-A 看護行政の組織 (P133~137)	
		b. 看護行政の組織と役割	〈別巻〉管理・研究・制度 3章-II-A 看護行政の組織 (P133~137)	

目標Ⅱ 災害看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2. 災害と看護	A. 災害医療 107-PM-67, 106-AM-90, 105-AM-66, 104-AM-120	a. 災害の特徴	統合と実践②災害看護学 1章-II 種類と特徴 (P17~21)	108-AM-78
		b. 災害と法制度	統合と実践②災害看護学 3章-II-A 国の対処 (P50~61)	
		c. 災害時の支援体制と医療体制	統合と実践②災害看護学 3章-II-D わが国の災害医療体制 (P65~71)	
	B. 災害の種類と特徴	a. 自然災害	公衆衛生学 2編-10章-C-2 災害の定義と種類 (P324~325), 統合と実践②災害看護学 1章-II-A 災害の分類 (P17~18)	
		b. 人為的災害	公衆衛生学 2編-10章-C-2 災害の定義と種類 (P324~325), 統合と実践②災害看護学 1章-II-A 災害の分類 (P17~18)	
		c. 特殊災害	公衆衛生学 2編-10章-C-2 災害の定義と種類 (P324~325), 統合と実践②災害看護学 1章-II-A 災害の分類 (P17~18)	
		d. 複合災害	公衆衛生学 2編-10章-C-2 災害の定義と種類 (P324~325), 統合と実践②災害看護学 1章-II-A 災害の分類 (P17~18)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2. 災害と看護	C. 災害各期の看護 105-AM-80, 105-PM-66, 118, 104-AM-75, 118, 119, 104-PM-74, 75	a. 災害看護の特徴	公衆衛生学 2編-10章-C-3 災害発生時の対策と平常時の活動 (P325~327), 老年看護学 ① 6章-II-C 災害サイクルにおける看護 (P227~231), 統合と実践②災害看護学 4章 急性期の災害医療・災害看護活動 (P140~196), 5章 亜急性期以後の災害医療・災害看護活動 (P200~217)	
		b. 災害各期(超急性期・急性期・慢性期・静穏期)の特徴	老年看護学① 6章-II-C 災害サイクルにおける看護 (P227~231), 統合と実践②災害看護学 4章 急性期の災害医療・災害看護活動 (P140~196), 5章 亜急性期以後の災害医療・災害看護活動 (P200~217)	
		c. 各期における保健医療の役割と看護	老年看護学① 6章-II-C 災害サイクルにおける看護 (P227~231), 統合と実践②災害看護学 4章 急性期の災害医療・災害看護活動 (P140~196), 5章 亜急性期以後の災害医療・災害看護活動 (P200~217)	
		d. 各期における要援護者への看護	老年看護学① 6章-II-C 災害サイクルにおける看護 (P227~231), 統合と実践②災害看護学 4章 急性期の災害医療・災害看護活動 (P140~196), 5章 亜急性期以後の災害医療・災害看護活動 (P200~217)	

目標Ⅲ

グローバル化を視野に入れた国際社会における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3. 国際化と看護	A. 看護における国際化の視点 104-AM-76	a. グローバル化と世界共通の健康目標	公衆衛生学 2編-11章 国際保健 (P330~339), 統合と実践③国際看護学 序章 今なぜ、国際看護学を学ぶのか (P2~8)	108-PM-73
		b. グローバル化と人間の安全保障	公衆衛生学 2編-11章 国際保健 (P330~339), 統合と実践③国際看護学 序章 今なぜ、国際看護学を学ぶのか (P2~8)	
		c. 国家・地域間の健康格差	公衆衛生学 2編-11章 国際保健 (P330~339), 統合と実践③国際看護学 序章 今なぜ、国際看護学を学ぶのか (P2~8)	
		d. 国際保健における日本の役割	公衆衛生学 2編-11章 国際保健 (P330~339), 統合と実践③国際看護学 序章 今なぜ、国際看護学を学ぶのか (P2~8)	
		e. 諸外国の看護制度	公衆衛生学 2編-11章 国際保健 (P330~339), 統合と実践③国際看護学 序章 今なぜ、国際看護学を学ぶのか (P2~8)	
	B. 国際社会における看護の対象	a. 在留外国人	統合と実践③国際看護学 2章-I-C 在日外国人の増加と国内の看護活動 (P38~39), Ⅲ 在日外国人への看護活動 (P48~62), 6章-IV 在日外国人に対する看護活動 (P206~214)	107-AM-112
		b. 在外日本人	統合と実践③国際看護学 2章-B 国際化と海外における看護活動 (P37~38)	
		c. 帰国日本人	統合と実践③国際看護学 2章-B 国際化と海外における看護活動 (P37~38)	
		d. 国際協力活動を必要とする人々・地域・組織	統合と実践③国際看護学 2章-II-C 第2次世界大戦以降の国際看護活動 (P42~47), 3章 国際看護活動を推進する人と機関 (P66~98)	108-AM-77
	C. 多様な文化と看護 104-PM-118, 119, 120	a. 文化を考慮した看護	統合と実践③国際看護学 5章 異文化理解と国際看護活動 (P118~155)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3. 国際化と看護	C. 多様な文化と看護 104-PM-118, 119, 120	b. 在留外国人の保健医療課題と看護	統合と実践③国際看護学 5章 異文化理解と国際看護活動 (P118~155)	107-AM-113, 107-AM-114
	D. 国際協力活動と看護 106-AM-72, 105-AM-67, 105-PM-67	a. 国際機関の役割	公衆衛生学 2編-11章-II-C-2 健康問題と関連の深い国連機関 (P333~334), III WHOの役割・活動 (P334~337), 統合と実践③国際看護学	
		b. 国際協力活動において看護が果たす役割	公衆衛生学 2編-11章-II-C-2 健康問題と関連の深い国連機関 (P333~334), III WHOの役割・活動 (P334~337), 統合と実践③国際看護学	
		c. 政府開発援助(ODA)を通じた開発途上国援助	統合と実践③国際看護学 3章-II-A 日本の国際協力活動の全体像 (P75~80)	

目標Ⅳ

複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4. 各領域(A~J)の看護の統合	A. 基礎看護学	A~Jの中項目を2項目以上含む、臨地の状況に近い複合的な事象における統合的な問題として出題する。	本項目には、すべての内容が該当するため、個別の箇所は示していません。	
	B. 成人看護学			
	C. 老年看護学			
	D. 母性看護学			
	E. 小児看護学			
	F. 精神看護学			
	G. 在宅看護論			
	H. 看護におけるマネジメントの基本			
	I. 災害と看護			
J. 国際化と看護				